

予算決算委員会 会議記録

- 1 期 日 令和3年9月3日（金）
午前11時27分 開会
午前11時47分 閉会
- 2 場 所 豊岡市議会議場
- 3 出席委員 委員長 青山憲司、
副委員長 西田 真、上田伴子、福田嗣久
委員 浅田 徹、芦田竹彦、足田仁司
石津一美、伊藤 仁、井上正治
上田倫久、岡本昭治、奥村忠俊
木谷敏勝、芹澤正志、清水 寛
竹中 理、田中藤一郎、椿野仁司
土生田仁志、松井正志、村岡峰男
米田達也
- 4 欠席委員 なし
- 5 説明員 政策調整部長 塚本繁樹、
環境経済部長 坂本成彦、
環境経済部参事 谷口雄彦、
コウノトリ共生部長 川端啓介
財政課長 畑中聖史
農林水産課参事 井垣敬司
- 6 傍聴議員 嶋崎宏之
- 7 事務局職員 局長 熊毛好弘、次長 安藤洋一、
主幹兼総務係長 小林昌弘、主幹兼議事係長 佐伯勝巳、
主幹兼調査係長 小崎新子、運転員 松岡 優
- 8 会議に付した事件 （別紙のとおり）

予算決算委員長 青山 憲 司

予 算 決 算 委 員 会 次 第

日 時 : 2021年9月3日(金) 本会議休憩中～
場 所 : 議 場

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 協議事項

(1) 付託案件の審査について

第117号議案 令和3年度豊岡市一般会計補正予算（第11号）

(2) 意見・要望のまとめについて

4 その他

5 閉 会

令和3年第4回豊岡市議会（定例会）議案付託表

【予算決算委員会】

第117号議案 令和3年度豊岡市一般会計補正予算（第11号）

予算決算委員会 議席図 (2021. 9. 3)

--	--	--	--	--	--	--	--

事務局次長 (安藤)	事務局主幹 (佐伯)	事務局主幹 (小崎)	事務局主幹 (小林)	事務局 (松岡)	機器
---------------	---------------	---------------	---------------	-------------	----

農林水産課参事 (井垣)				財政課長 (畑中)	
-----------------	--	--	--	--------------	--

委員長 (青山)	事務局長 (熊毛)
-------------	--------------

--	--	--	--	--

			コウノトリ共生部長 (川端)	環境経済部参事 (谷口)	環境経済部長 (坂本)	政策調整部長 (塚本)	
--	--	--	-------------------	-----------------	----------------	----------------	--

演 台

--	--	--	--	--	--	--	--

質問席

12	11
芦田竹彦	竹中理

10	9
奥村忠俊	上田伴子

8	7
村岡峰男	田中藤一郎

6	5
土生田仁志	清水寛

4	3
岡本昭治	上田倫久

2	1
芹澤正志	米田達也

24	23
石津一美	青山憲司

22	21
足田仁司	西田真

20	19
伊藤仁	福田嗣久

18	17
井上正治	松井正志

16	15
椿野仁司	木谷敏勝

14	13
浅田徹	

			記者席
	傍聴席		

午前 11 時 27 分開会

○委員長（青山 憲司） それでは、皆さんおそろいになりましたので、ただいまから予算決算委員会を開会いたします。

委員長挨拶ですが、時間も押しておりますので割愛をさせていただきたいと思います。

それでは、座って進めさせていただきます。

これより付託案件の審査に入ります。まず、当委員会に審査を付託されました案件は、次第書に記載しておりますとおり、第 117 号議案の 1 件でございます。

お諮りいたします。本委員会に付託されました議案につきましては、議会運営委員会の協議により、分科会への分担を行わず、委員会全体会で審査を行うことにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（青山 憲司） ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。

審査の流れにつきまして確認をさせていただきます。

当局職員の出席につきましては、議案に係る部署の出席としておりますので、ご了承を願います。

審査方法は、当局から説明を受け、質疑、討論、表決を行い、その後、委員会意見・要望の取りまとめを行うことといたしたいと思います。

なお、質疑、答弁に当たりましては、くれぐれも要点を押さえて簡潔明瞭に行うなど、スムーズな議事進行に格別のご協力をお願いいたします。

それでは、第 117 号議案、令和 3 年度豊岡市一般会計補正予算（第 11 号）を議題といたします。

当局の説明に当たっては、資料のページ番号をお知らせ願います。

それでは説明願います。

財政課、畑中課長。

○財政課長（畑中 聖史） 追加議案書の 7 ページをご覧ください。第 117 号議案、令和 3 年度一般会計補正予算（第 11 号）でございます。本案の内容は 2 点ありまして、1 点目がコロナウイルス感染症対策で、観光協会による観光地プレミアム券の発行

に対する支援と、かばん・杞柳の割引販売に対する支援でございます。2 点目が、8 月 13 日から 15 日までの長雨によって被害を受けた農地、農業用施設の災害復旧に係る経費です。

第 1 条で、歳入歳出それぞれ 1 億 2,300 万円を追加して、総額 499 億 5,301 万 3,000 円とするものでございます。

第 2 条で地方債の追加を行うものです。

財源といたしましては、16 ページ、17 ページをご覧ください。県支出金、市債のほか、一般財源は特別交付税及び繰越金を計上いたしております。

財政課からの説明は以上でございます。

○委員長（青山 憲司） 続いて、環境経済部長、坂本部長。

○環境経済部長（坂本 成彦） それでは、別にお配りしております一般会計補正予算（第 11 号）の概要という資料をご覧ください。1、事業名、「観光地」及び「かばん」への支援ということで掲載しております。まず 1 つ目の事業目的に書いておりますとおり、蔓延防止、それから緊急事態という長期間の人流抑制によって、日常生活等は動いておりまして、それに伴う経済っていうのは一定程度稼働してると思うんですけども、観光客需要に頼る事業者、特に観光地、かばんについては大きな打撃を受けているというふうに認識しております。国、県の大型経済活性化策が再開されるまでの間、何とか乗り切るための支援策として今回の事業を提案いたしております。

2 ページをご覧ください。1、事業名、「観光地」及び「かばん」への支援ということで掲載しております。まず 1 つ目の事業目的に書いておりますとおり、蔓延防止、それから緊急事態という長期間の人流抑制によって、日常生活等は動いておりまして、それに伴う経済っていうのは一定稼働してると思うんですけども、観光客需要に頼る事業者、特に観光地、かばんについては大きな打撃を受けているというふうに認識しております。国、県の大型経済活性化策が再開されるまでの間、何とか乗り切るための支援策として今回の事業を提案いたしております。

まず 1 つ目は、観光地プレミアム券事業への支援ということで、2 番の事業概要に書いております。いわゆる補助事業でございまして、新たな補助メニューの創設ということでございます。

(1) 内容としましては、観光協会が主体となつて行うプレミアム券事業の実施に要する費用を補助するという形にしております。対象経費はプレミアム分 33.3%以内、もう一つは事務費、券の印刷費ですとかポスター・チラシ印刷費等を想定しております。プレミアムの 33.3%と書いておりま

すのは、吹き出しに書いておられますとおり、4,000円分の商品券が3,000円で購入できるというものを想定いたしておられます。事業のイメージ図は下に書いておられます。ご覧いただきましたらお分りのとおり、地域の特性を生かした商品券事業を展開していただき、その経費を支援する補助事業としておられます。

3ページに移っていただきまして、事業期間は10月から年末まで、12月までを想定いたしておられますけれども、緊急事態措置等の状況によって期間のほうは調整をさせていただきたいと思っておられます。

事業主体は観光協会、全体事業費として7,100万円を計上いたしておられますけれども、このうちプレミアム分が6,000万円、事務経費分が1,100万円というふうに見積もっておられます。

もう一つの事業は、BUY豊岡かばんというふうに書いておられます。(1)市内で生産された鞆と杞柳細工の30%応援割引セールに必要な経費を補助することとしておられます。以前に展開しましたBUY豊岡の再実施というふうな形を想定いたしておられます。

(2)で、事業期間は10月から12月といたしておられますが、これも先ほど申し上げましたとおり、緊急事態措置等の状況によって調整を行いたいというふうを考えておられます。売上げの総額が6,000万円に到達次第終了というふうな形で今回は計上いたします。

全体事業費(4)ですけれども、1,900万円を想定しておられます、このうち30%値引き分が1,800万円、事務費として印刷製本費100万円ということで見積りをいたしておられます。

2つの事業を合わせて合計予算額が9,000万円、これによって、単純計算ですけれども3億円の直接経済効果を目指しておられます。

私からの説明は以上です。

○委員長(青山 憲司) 続いて、農林水産課、井垣 参事。

○農林水産課参事(井垣 敬司) 別途お配りしてお

ります資料の4ページをご覧ください。農地、農業用施設災害復旧事業です。8月13日から15日にかけての前線による長雨によりまして市内各地で農地や農業用施設が被災したため、災害復旧事業を実施するものです。

2の事業概要をご覧ください。内容です。被災件数が15件ございます。昨日現在では22件の被災報告をいただいております。補助災害復旧事業を5件、小災害復旧事業を10件、そのほか修繕料と工事に係ります委託料一式を予定してございます。

(4)今後のスケジュールをご覧ください。記載のとおりですが、発災から2か月後ですので、10月の中・下旬には国によりまして災害査定を受けまして、11月には復旧工事を発注してまいりたいというふうに考えてございます。

事業費は3,300万円でございます。内訳については、小規模な修繕料が200万円、測量・設計に係る委託料が300万円、工事請負費につきましては、補助災害復旧工事に2,000万円、単独災害復旧工事に800万円の、合わせて2,800万円でございます。

説明は以上です。

○委員長(青山 憲司) 説明は終わりました。

これより質疑に入ります。質疑はありますか。芹澤正志委員。

○委員(芹澤 正志) 観光地プレミアム券事業の件でございますけれども、これ、表に出る名称としてはこのままでしょうか。これからまた検討されるということなんでしょうか。いわゆる観光客がぱっと見て内容が分かりやすい名称がいいのではないかなと思いますけれども、いかがでしょうか。

○委員長(青山 憲司) 坂本環境経済部長。

○環境経済部長(坂本 成彦) これ、あくまで市としての事業の名称でございますので、これまでリフォームとかBUY、ギフト、そういう分かりやすい名称を使ってきたということもありますから、ここはよく今後考えて決めていけたらと思います。

○委員長(青山 憲司) よろしいですか。

そのほかございませんか。

村岡峰男委員。

○委員（村岡 峰男） 農地、農業用施設の災害の関係で2点お伺いをしますが、1つは、今後のスケジュールのところ、国の災害査定が10月とあるんですが、これから9月、10月、台風シーズンですね。この工事の発注が11月ですから、台風シーズンの中で災害を受けたところがそのままさらに大きな被害になる可能性というのは強いと思うんですが、その場合に、今回のこの復旧事業っていうのはどうなるんかっていうのが1つと、もう一つは、一番下に激甚災害となる見込みだというふうにあるんですけども、この文章をつくられてから既に1週間、あるいは10日たってると思うんですが、この見込みは今もそのまま見込みですか。2点です。

○委員長（青山 憲司） 農林水産課、井垣参事。

○農林水産課参事（井垣 敬司） まず1つ目、あってはならないことなんですけども、追加の被災があったような場合はどうなるのかというふうなご質問だったと思います。それにつきましては、どう言ったらいいのかあれなんですけど、まずは今現在の被災状況を把握して災害査定を受けるべき準備をさせていただきます。無事査定を受けられた場合にはそれで復旧額が確定し、その後、もしも追加の被災というふうなことがございましたら、1度目の査定をはねてという言い方はおかしいんですが、追加分を改めて査定を受けるというふうな制度になってございます。

もう一つは、可能性としましては、準備をしておいたんですけども災害査定の前に追加の被災が生じた場合、これが一番厄介な形になるかと思っておりますけども、その場合は、まだ一度も査定を受けておりませんので、全体の被害をもう一度把握し直して査定を受けるというふうな運びになるかと思っております。

あと、激甚指定について、少し時間がたっているがどうなのかというお尋ねだったかと思っております。せんだってインターネットで総務省のホームページを見てございましたら、8月31日付の文書で、内閣府から令和3年8月の大雨による災害について

の激甚災害及びこれに対し運用すべき措置の指定見込みについてというふうなことで通知がございまして、まず1つは、令和3年8月の大雨による災害についての何がし何がしということで、激甚災害の指定の見込みということで通知がございまして。まだ正式決定ではございませんけども、これで激甚指定はいただけるのではないかとというふうにお考えしております。

○委員長（青山 憲司） よろしいですか。

そのほかございませんか。

田中藤一郎委員。

○委員（田中藤一郎） ちょっと確認とちょっと教えてください。以前の、これまでに事前にいろいろ聞かせていただいた部分がありますけれども、例えば今回、BUYとプレミアムチケット、2つあるんですけども、非常に10月から12月というふうな中で、やはり観光は10月から、特に11月は非常に来客も多いと。また、今日の新聞だったかな、接種してる人の往来等々の緩和も政府のほうも考えていくというふうなところで、例えばBUYの豊岡かばんさんの予算がもうあつという間になくなってしまったと、ただプレミアムチケットのほうはまだちょっとあつたり、その逆の場合も考えられたりだとかした場合は、やはり、目的がより多く買っていたいて、苦しんでる業界のところに対しての追加の部分があつたりだとか、予算の、これなかなか入れ替えはやりにくいとは思いますが、その辺り柔軟に考えられるのか、その辺りちょっと教えてくださいいただけますか。

○委員長（青山 憲司） 環境経済部、坂本部長。

○環境経済部長（坂本 成彦） 厳しい財政運営の中で、今回一定の予算確保して事業に向かっているとしてますけれども、今おっしゃっていただいたような事態も想定はされると思います。この中で動けるようでしたら、それはそれで一つやり方かなと思いますし、もし不足してくるような場合には、またご相談を議会のほうにもさせていただくことがあろうかと思っておりますので、その状況を見ながらということをお願いしたいと思います。

○委員長（青山 憲司） 田中藤一郎委員。

○委員（田中藤一郎） いろんな方とお話しする中で、30パーは本当にありがたいんだけど、例えばこの追加とする場合、例えばその場合は10%でもしてもらえれば、やっぱり動機になったりだとか、予算額が抑えられて幅広く買っていただけるだとかいうふうな考え方もあるようですので、十分困ってる業界の方々と何がいいのかっていうような部分は今のうちに少し考えられておかれたほうが、やはり11月はかなり動きが、国のほうも従来の動き方、緊急事態宣言でも接種してる方に動きをしていくんだというふうな方向づけがあるようですので、よろしくをお願いします。

○委員長（青山 憲司） よろしいですか。

そのほか質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（青山 憲司） 質疑を打ち切ります。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（青山 憲司） 討論を打ち切ります。

お諮りいたします。本案は、原案のとおり可決すべきものと決定してご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（青山 憲司） ご異議なしと認めます。よって、第117号議案は、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上で委員会に付託されました案件の審査は終了いたしました。

ここで委員の皆さん、当局の職員の皆さんから何かございましたらご発言願います。ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（青山 憲司） ないようですので、当局の皆さんにおかれましてはご退席いただいて結構です。お疲れさまでした。

ここで委員会を暫時休憩いたします。

午前11時45分休憩

午前11時46分再開

○委員長（青山 憲司） それでは、委員会を再開い

たします。

これより委員会意見・要望のまとめに入ります。当委員会の意見・要望として、委員長報告すべき内容があればご発言を願います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（青山 憲司） よろしいでしょうか。

特になしということですので、当委員会の意見及び要望は付さないということできたいと思います。

この後、委員長報告につきましては、正副委員長にご一任を願いたいと思いますが、ご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（青山 憲司） ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。

続いて、その他ですが、委員の皆さんから何かご発言がございましたらお願いをいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（青山 憲司） ないようですので、以上をもちまして、本日の予算決算委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。

午前11時47分閉会